

中国地区品質経営協会 シンポジウム

組織活性化・人材育成

- 参加のお勧め -

モノづくり企業の活動は、ますますグローバル化の度合いを強めており、競争に勝ち残るために生産現場では中核を担う人材の継続的な育成が重要な課題となっています。

今回のシンポジウムでは、国内最大級のパソコン生産拠点である株式会社 島根富士通 様と、国内 9 工場、海外 7 工場で生産を展開されている 広島アルミニウム工業 株式会社 様に、それぞれの観点から人材育成についてご講演頂きます。

株式会社 島根富士通 様は、2015 年内閣総理大臣表彰「第 6 回ものづくり日本大賞」にて「経済産業大臣賞」を受賞されるなど、Made in Japan にこだわった国際競争力の高い製品を生産されています。競争力を高めるための生産革新などを行える人材をいかにして育成して行くかなどについて講演を頂きます。

広島アルミニウム工業 株式会社 様には、ベトナム・メキシコ・中国・タイへの生産拠点の急激な海外展開に対応するための人材育成の取組みを、海外展開の先駆けとなりましたベトナムでのローカル人材の育成を教訓に、社内展開されている内容について講演を頂きます。

その後のパネルディスカッションでは、広島工業大学 名誉教授の久保田洋志先生をコーディネーターに、参加者の皆様からの質問への回答も交え、本音の意見交換ができればと考えています。

分かりやすく実りのあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、是非多数の皆さまのご参加を賜りますようご案内申し上げます。

日 時 : 2016 年 12 月 14 日(水) 13:20 ~ 17:00 (13:00 開場)

会 場 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室

プログラム :

第一部 講演 (13:25 ~ 14:25)

「Made in IZUMO を支えるモノ(物・者)づくり」

株式会社島根富士通 製造部長 兼 生産革新センター長 松元 省吾 氏

第二部 講演 (14:35 ~ 15:35)

「グローバル展開への挑戦：ベトナムでの人材育成から学んだこと」

広島アルミニウム工業株式会社 総務部 人材開発課 次長 長里 清文 氏

第三部 パネルディスカッション (15:55 ~ 16:55)

・株式会社島根富士通 製造部長 兼 生産革新センター長 松元 省吾 氏

・広島アルミニウム工業株式会社 総務部 人材開発課 次長 長里 清文 氏

・広島工業大学 名誉教授 久保田 洋志 氏 (コーディネーター)

講演者/講演要旨 紹介

< 講演 >

【講演者】

松元 省吾 氏（株式会社島根富士通 製造部長 兼 生産革新センター長）

[略 歴]

1992年株式会社島根富士通に入社、製造部 第一製作課にて工程管理や品質管理を担当。その後、装置製造部門、品質管理部門を経験。

2010年より生産革新センターにて、TPSを中心とした生産革新を推進。

2013年より3年間、富士通㈱に出向し生産革新を本格的に学び富士通のグループ工場で実践。

2016年より現職に着任。現在に至る。



【講演要旨】

ものづくりの拠点が東南アジアなどの新興国に移る中、Made in Japan に拘り 良い製品をより早く、より安く提供するためには、良い人材の継続排出が必要不可欠となっています。

島根富士通では、『人は仕事で成長し、社会に貢献する』を経営理念とし、自ら考え行動できる人材が確実かつ継続的に排出されるよう、『改善実践力』『品質知識と実践力』『生産技術とICT 技術』を人材育成の三本柱として、人材育成に関わる教育の仕組みを構築してまいりました。今回こうした取り組みを紹介するとともに 更なる Made in Japan の強化に向け、みなさまと考えていきたいと思っております。

< 講演 >

【講演者】

長里 清文 氏（広島アルミニウム工業株式会社 総務部人材開発課次長）

[略 歴]

1979年広島アルミニウム工業株式会社に入社、工場の新規設備導入及び保全を担当。1990年より千代田工場の建設・設備導入・工場運営を担当。

2002年より海外進出事業としてベトナムに会社を設立、工場建設から設備導入及びベトナム人の人材育成までを行う。

2004年よりHPS推進室に所属し『トヨタ生産システム』の社内展開に携わる。

2006年より八重工場の建設・工場運営を担当。

2010年より総務部に異動し、人材育成のマネージメントを担当。現在に至る。



【講演要旨】

海外拠点での人材育成は、言語・文化・環境・習慣や様々な違いを一つ一つ乗り越えることにほかならず、並大抵のことではありません。「日本の常識は世界の常識ではない」を認識しつつ、組織づくりからロイヤリティー(福利厚生)における取り組みにより、ローカル人材をどのように育成し、会社の財産として行くのかを、様々な課題への対応事例・実情等により紹介し、その教訓を基に日本での教育体制をどのように整えてきたかを紹介します。

パネルディスカッション コーディネーター紹介

久保田 洋志 氏 (広島工業大学 名誉教授・工学博士)

[略 歴]

1972 年 広島工業大学工学部経営工学科 講師, 1980 年 助教授, 1988 年
工学博士(東京工業大学), 1989 年 工学部 教授, 2012 年 名誉教授

[主な役職]

日本情報経営学会 常任理事, デミング賞委員, 日本品質管理学会 副会長, TPM 優秀賞
審査委員会委員, QC サークル本部 幹事, 日本規格協会 顧問, 中国地区品質経営協会
運営委員長



会場案内

広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室

広島市中区基町 5-44 TEL (082) 222-6610 (代表)

- ・ 相生通り(国道 183 号線) 沿い原爆ドームの向かい。
- ・ 路面電車 系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島
バスセンター県庁前等で下車。



参加要領

- [定 員] 150 名
- [参 加 費] 会員会社 無料 (非会員会社 3,000 円 / 一人)
- [申込締切日] 2016 年 11 月 30 日 (水)
- [申 込 方 法] 参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、又は E メールにてお申し込み下さい。

